

Coming Soon!!

TOKYO R&D
pow@r solutions

DCDCコンバータ機能付き 双方向車載充電器

- ✓ 出力容量 6.6 kW
- ✓ 双方向
- ✓ 電池側電圧 DC 200V~400V



順次サンプル提供開始、予約受付中!!

特 徴

●双方向制御が可能

車載バッテリーの充放電がこのモジュールひとつで対応可能

●車内でAC電源として利用可能

検診車など、車内で交流電源としての利用が可能に

●V2H、V2Gの実証試験用に

EV、蓄電池、太陽光発電設備などを組み合わせた実証試験での利用も可能

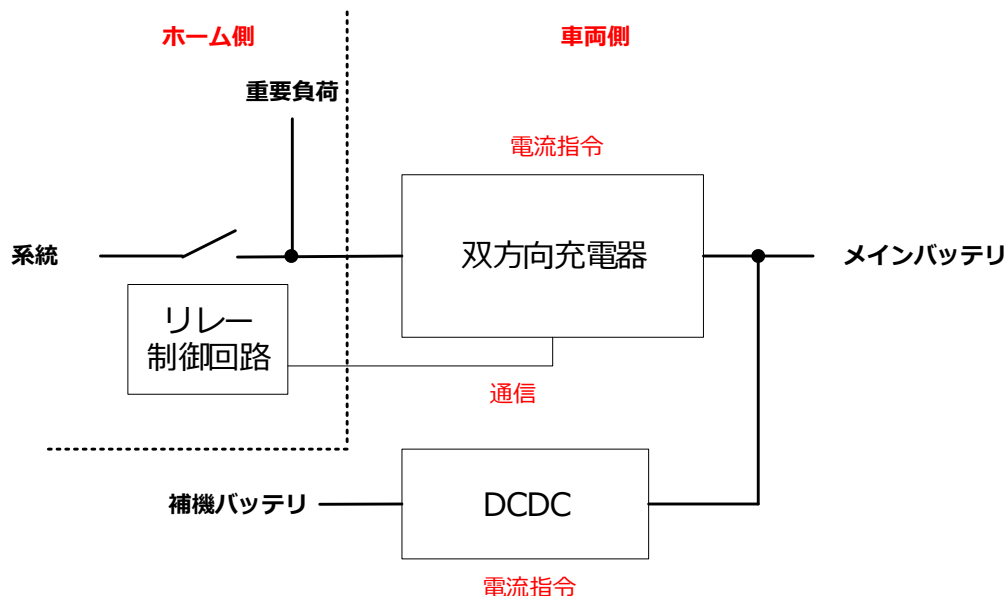
●EV用に開発中

車載パーツとして、小型モビリティに搭載予定

仕 様 (暫 定)

Category	Specification
Voltage (Battery Side)	DC 200V ~ 400V
Charging Station AC Input Voltage Range	AC 90V ~ 240V (50Hz / 60Hz)
Charging Station AC Nominal Input Voltage	AC 100V / 200V (50Hz / 60Hz)
Max. Power Output	6.6kW
Source Power Voltage Range	6V ~ 15V
DCDC Max. Current Output	80A (5 second interval)
DCDC Nominal Current Output	0 ~ 20A (Capable of current limit)
Temperature (while using)	-20°C ~ +60°C
Temperature (while storage)	-40°C ~ +80°C
Dimension	W 350mm D 250mm H 150mm

双方向充電器とは？

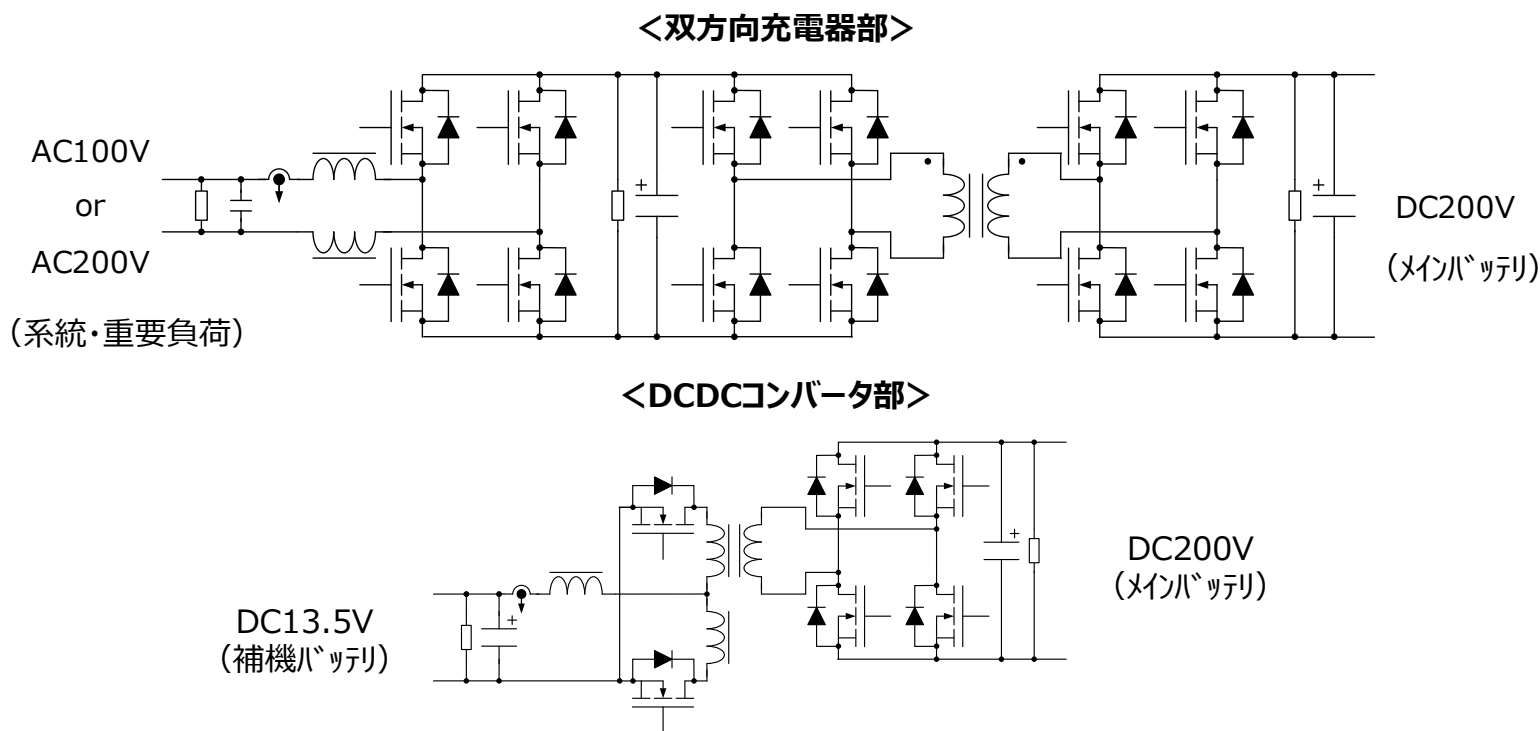


通常、AC系統から車両搭載されたバッテリーを充電しますが、例えば停電時など、車載バッテリーから電気を使いたい場合には、本充電器でACが取り出せます。

片方向の充電器の場合は、別途、車両バッテリーからACを作るためのインバータが必要となります。

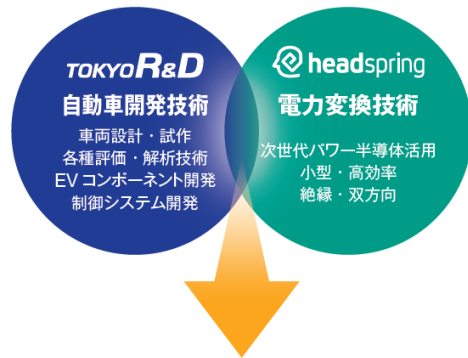
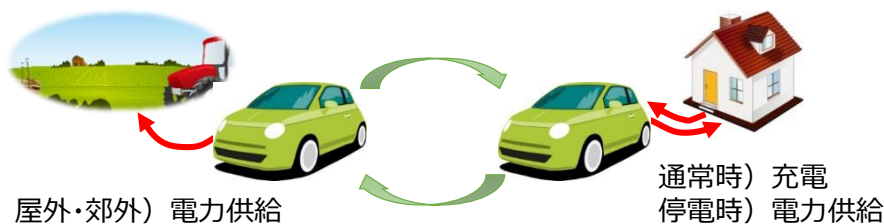
将来的には我々が保有している系統連系技術を活用し、車載バッテリーにて家庭内電力のピークシフトを実現します。つまり車両を“走る蓄電池システム”として活用可能とするのが双方向充電器です。

ブロック図



双方向充電器による電力とモビリティの融合

双方向充電器を使えば、車両が蓄電池システム代わりに活用できるようになります。特に新興国においては、電力インフラが脆弱なため、例えば、農場や牧場においては、ポンプや農機具、電灯などの電源として活用できます。また、家庭にEVが止まってさえいれば、停電時に非常用の電源として活用できます。



新しい価値の提供
V2H、V2G へ向けた双方向型の車載電力変換システム
SiC/GaN を活用した小型・高効率な EV コンポーネント